

県内初 県内11の感染症指定・協力医療機関と保健所から70名が参加 新興感染症に備えた実践訓練を実施します

日時:11/2(土)13:30～ 場所:広島県医師会館(広島市東区)

1 要旨

感染症危機への備えをより万全なものとするため、多様なシナリオや実施主体による訓練の実施を通じて、平時の備えについて不断の点検・改善を行うことが極めて重要となっています。

このため、今年度から新たに、医療機関を対象とした、想定外にも対応できる実践的な新興感染症等対応訓練を実施します。

2 現状・背景

- 新型コロナウイルス感染症への対応では、想定外の出来事であり、医療提供体制がすぐには立ち上がりませんでした。
- 医療機関においては、いつ、どんな感染症の患者が来ても、極力、医療従事者や周囲の患者が濃厚接触者にならないような感染対策を備えておくとともに、患者の重症度等に応じて適切な医療が提供されるよう、地域の医療連携を強化する必要があります。

2 概要

(1) 実施内容

- 県内11の感染症指定・協力医療機関及び保健所等から70名程度が参加し、感染症発生時を想定した机上訓練(ブラインド訓練※)を実施します。(訓練イメージは別紙参照)

※**ブラインド訓練**とは、疾患名を含む患者想定やシナリオを参加者には知らせず、現実に近い形で対応・課題抽出する訓練です。

- 本訓練は、広島県感染症予防計画や今年度改定予定の広島県新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、医療機関や保健所の健康危機管理体制の強化を目的に実施します。

(2) 実施日時

令和6年11月2日(土)13時30分～15時30分

(3) 場所

広島県医師会館201会議室(広島市東区二葉の里三丁目2番3号)

(4) 実施主体

広島県(主催)、広島県医師会(共催)、広島市(協力)、広島県看護協会(協力)

3 講師等

アドバイザー 川崎市健康安全研究所所長 三崎 貴子 氏

川崎市健康福祉局保健医療政策部 保健政策担当部長・保健所副所長 小泉 祐子 氏

総括・講評 川崎市健康安全研究所参与 岡部 信彦 氏※

※前川崎市健康安全研究所所長で、国立感染症研究所感染症情報センター長、厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード構成員、新型インフルエンザ等対策閣僚会議新型インフルエンザ等対策有識者会議・会長代理(兼)新型コロナウイルス感染症対策分科会委員などを歴任された感染症の専門家。

4 その他

- 会場での取材を希望する社は、10月31日(木)12時までに健康危機管理課まで御連絡ください。(連絡先:082-513-3068 健康危機管理課感染症管理グループ 児玉、山内)
- 資料は当日配付します。
- ブラインド訓練のため、事前に訓練内容をお知らせしていません。
- 一般の方は参加できません。

訓練の目的

- 感染症危機への備えをより万全なものとするため、**多様なシナリオや実施主体による訓練**の実施を通じて、**平時の備えについて不断の点検・改善**を行うことが極めて重要となっている。
- 令和5年度に、国において感染症危機管理対応訓練が再開されたことを踏まえ、広島県においても**関係機関の連携強化につながり、実践的かつ継続的な訓練**を今年度から**新たに導入**する。

訓練の内容（イメージ）

